

# 故障かなと思ったら

まず次の点をもう一度お調べください。

1. 停電もしくは、ブレーカーが落ちていませんか？
2. タイマーの横P付コードのプラグが、コンセントからはずれていませんか？
3. タイマーは、正しく設定されていますか？
  - 現在時刻を確認してください。
  - タイマー設定時刻を確認してください。
4. タイマー運転時間内ですか？
  - タイマー設定時刻を確認してください。
  - タイマー運転時間外であればタイマーのモードを**連続運転**にしてファン運転を確認してください。確認後再びモードを**タイマー**に切替えてください。
5. タイマーのモードが**停止**になっていませんか？

※詳細な設定方法はタイマー付属の取扱説明書をご参照ください。

# アフターサービス

## 補修用性能部品の最低保有期間

本製品の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後、6年です。

- この期間は経済産業省の指導によるものです。
- 補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

## 不明な点や修理に関するご相談

修理に関するご相談ならびに不明な点は、お買い上げの販売店に、お問い合わせください。

## 修理を依頼されるときは

- 保証期間中の修理については、販売店にご相談ください。なお、ご相談されるときは、品名およびお買い上げ時期をお忘れなくお知らせください。
- 保証期間経過後の修理については、販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
- 一般家庭以外（例えば業務用など）に使われたときの故障は保証期間内でも原則として有料修理になります。

## 保証書について

- この製品には「保証書」がついています。
- 保証書はお買い上げの販売店でお渡ししますので、記入内容をご確認のうえ、大切に保管してください。
- 保証書にお買い上げ日、販売店名など所定事項の記入がないと有効になりません。万が一、記入がない場合は、お早めにお買い上げの販売店にお申し出ください。
- 万が一故障した場合には、保証書記載内容により、保証期間内はお買い上げの販売店が無料修理いたします。

## 愛情点検

## 長年ご使用の換気扇の点検を



ご使用の際、このような症状はありませんか？

- スイッチを入れても時々羽根が回転しないことがある
- 回転が遅い、または回転が不規則である
- 運転中に異常な音や振動がする
- 焦げくさい“におい”がする
- その他の異常がある



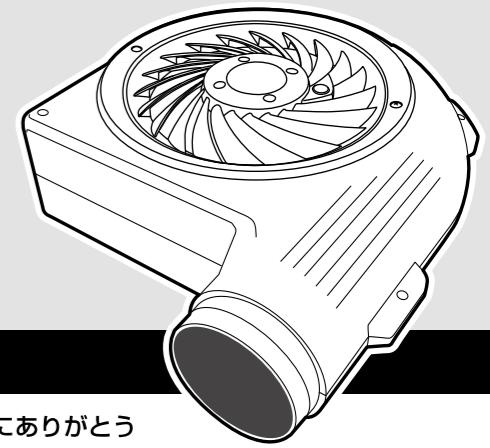
ご使用中

このような症状のときは、故障や事故防止のため、プラグを抜いて、必ず販売店に点検・修理をご相談ください。

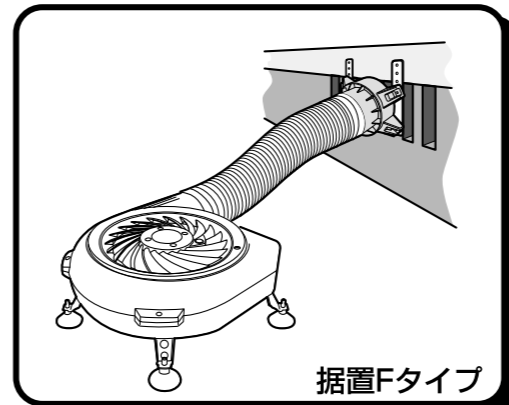
## ■床下・天井裏用ブロー型換気システム

# 取扱説明書

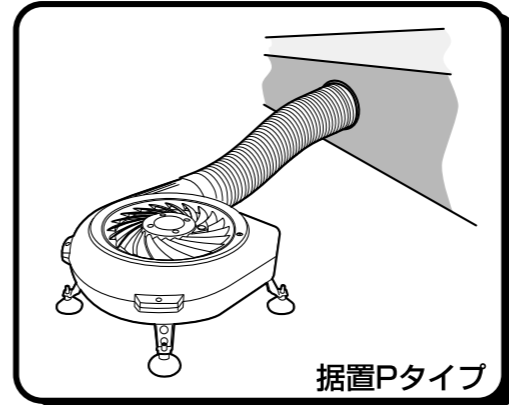
## ブロー型 4タイプ



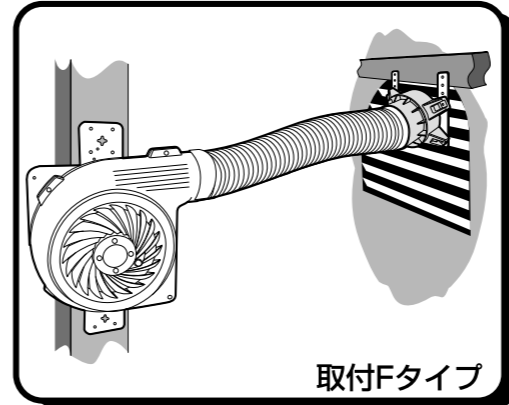
このたびは、床下・天井裏用ブロー型換気システムをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。



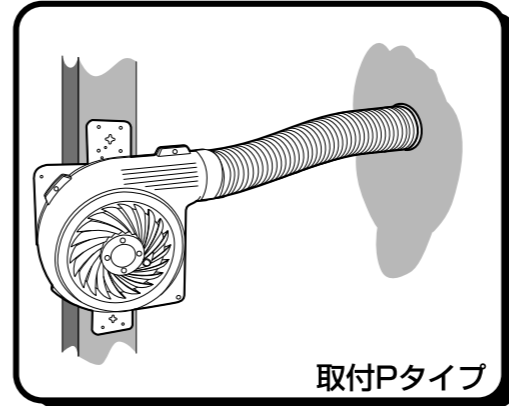
据置Fタイプ



据置Pタイプ



取付Fタイプ



取付Pタイプ

## 目次

共通項	安全上のご注意	2	
	ダクト工事に関する注意事項	3	
	取付場所	3	
共通項	各部の名称と外形寸法図 梱包内容を含む	4	
	固定足の取付方法	5	
据置型	Fタイプ	据置Fタイプの施工方法	6
	Pタイプ	据置Pタイプの施工方法	7
共通項	本体固定プレートを使った様々な取付例	8	
	各部の名称と外形寸法図 梱包内容を含む	8~9	
取付型	本体固定プレートの取付方法	10	
	本体の設置方法 <ul style="list-style-type: none"> <li>■木部への取付</li> <li>■取付板を介しての取付※1</li> <li>■H(L)形鋼への取付※2</li> </ul>	11	
取付型	Fタイプ	取付Fタイプの施工方法	12
	Pタイプ	取付Pタイプの施工方法	13
共通項	配線および結線方法	14	
	仕様	14	
	工事完了後の点検	15	
	故障かなと思ったら	16	
	アフターサービス	16	

※1 取付板セットは別売です。 ※2 支持金具セットは別売です。

### 安全上のご注意

## 必ずお守りください


お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを次のように説明しています。


■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害を、次の表示で区分し、説明しています。

**警告** この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。


**注意** この表示の欄は「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。


■お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。


 このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。


 この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。


### 警告


 ■仕様変更・改造・分解は絶対にしない。  
火災・感電・けがの原因となります。

 ■製品を水や薬剤につけたりかけたりしない。  
ショート・感電の恐れがあります。  
破損・変形の原因となります。


 ■コンセントや配線器具の定格を超える  
使い方や、交流100V以外で使用しない。  
誤った配線工事は火災・感電の恐れがあります。


 ■取付工事および電気工事は  
「電気設備技術基準」「内線規程」  
に基づいて専門工事店が行なう。  
誤った配線工事は火災・感電の恐れがあります。


 ■決められた以外の場所では使用しない。  
(本製品は、床下専用です。)  
火災・感電・けがの原因となります。


 ■さだめられた施工以外で使用しない。  
火災・感電・けがおよび故障の原因となります。


### 注意


 ■運転中は危険ですから本体内部に指や物を入れない。  
感電・火傷・けがの恐れがあります。

 ■本体取付のときは必ず手袋などを着用する。  
けがの恐れがあります。

 ■水につかるところに取付けない。  
ショート・感電の原因となります。

 ■製品の上に物を置かない。  
破損・変形の原因となります。

 ■固定足を持って運んだり動かしたりしない。  
破損・変形の原因となります。

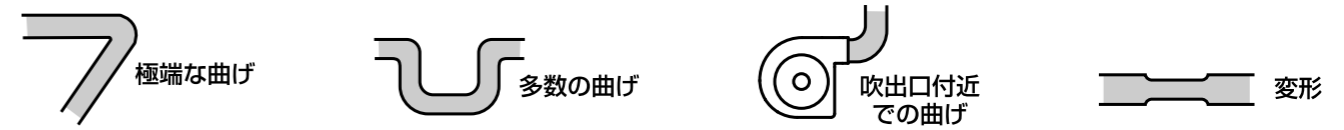
 ■落とさない。  
破損・変形の原因となります。

### お願い

■台風時など床下浸水が予想されるような場合は電源を切ってください。また、床下浸水などがあった場合は部品の交換が必要です。(お買いあげの販売店にご相談ください。)

### ダクト工事に関する注意事項

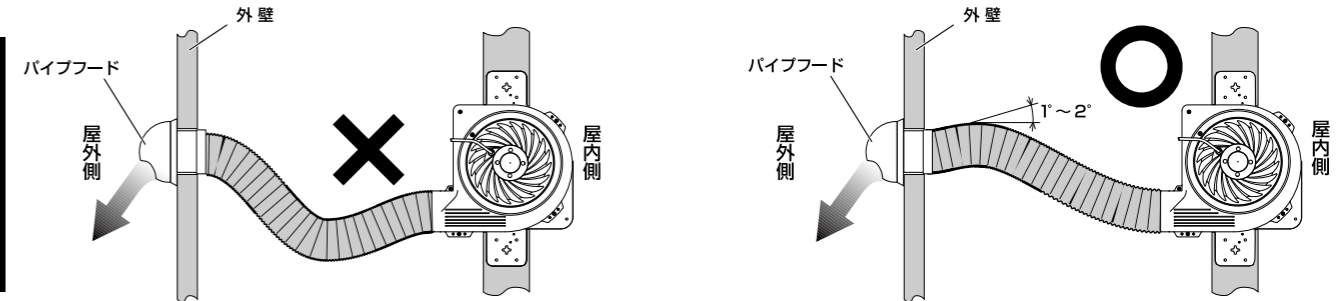
次のようなダクト工事はしないでください。(性能低下や騒音の原因になります)



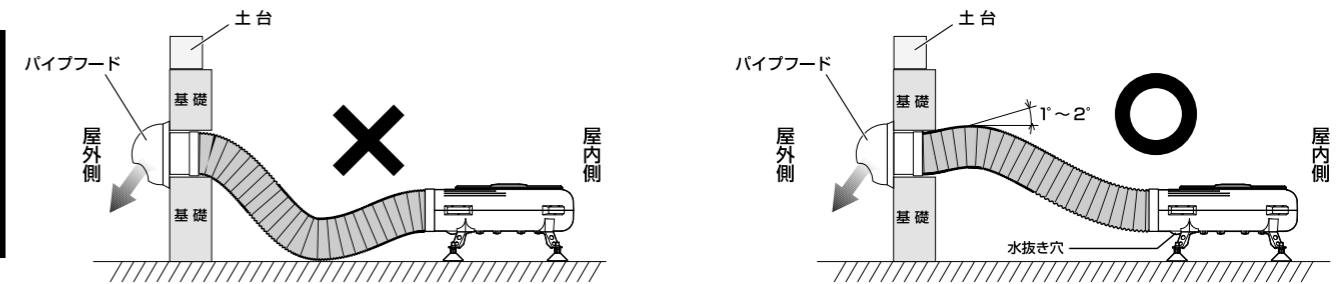
アルミダクトは屋外側に1°~2°下りこう配にし、本体までたるませずに接続してください。  
※吹出ノズル(取付Fタイプ)の場合も同様です。

- 注意**
- 屋外からの雨水等がアルミダクトにたまらないようにしてください。
  - 吊りバンドはダクトが垂れないように場所を選んで取付けてください。

天井裏での工事例



床下での工事例



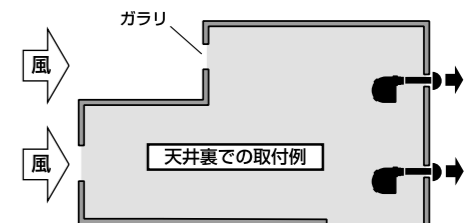
**結露対策について** ●冬期など天井裏とダクトの温度差のため、ダクトが結露する際は(特に寒冷地)、ダクトに断熱材を巻くか、断熱対策がなされているダクト(市販品)の使用をおすすめします。

### 取付場所

**本体** 本来の効果を損なうことのないよう設置位置選定と使用方法に配慮してください。

#### 天井裏での取付例

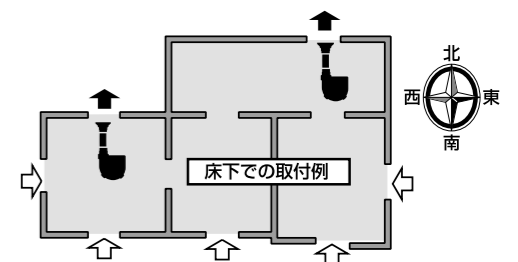
- 天井裏の風が、よく流れる位置に換気扇と換気口を設けてください。
- 吹出口からの風や騒音が隣家の迷惑にならないような場所に取付けてください。
- 風雨や風雪の吹込みがない場所を選んでください。
- 使用可能温度条件(-5℃~40℃)以外のところに取付けないでください。



※外気の風の流りに逆らわない様に取付けてください。

#### 床下での取付例

- 床下の風が、よく流れる位置に換気扇と換気口を設けてください。
- 吹出口からの風や騒音が隣家の迷惑にならないような場所に取付けてください。
- 風雨や風雪の吹込みがない場所を選んでください。
- 積雪により、換気口がふさがれてしまうような所は防雪の処置が必要です。
- 換気口の近くに物を置かないでください。換気性能の低下や騒音の原因となります。
- 使用可能温度条件(-5℃~40℃)以外のところに取付けないでください。
- 換気格子の空気抵抗が大きい場合、換気口の格子を取除いて防虫ネット(オプション)を取付けてください。



※換気有効面積 8~10坪/台(目安)

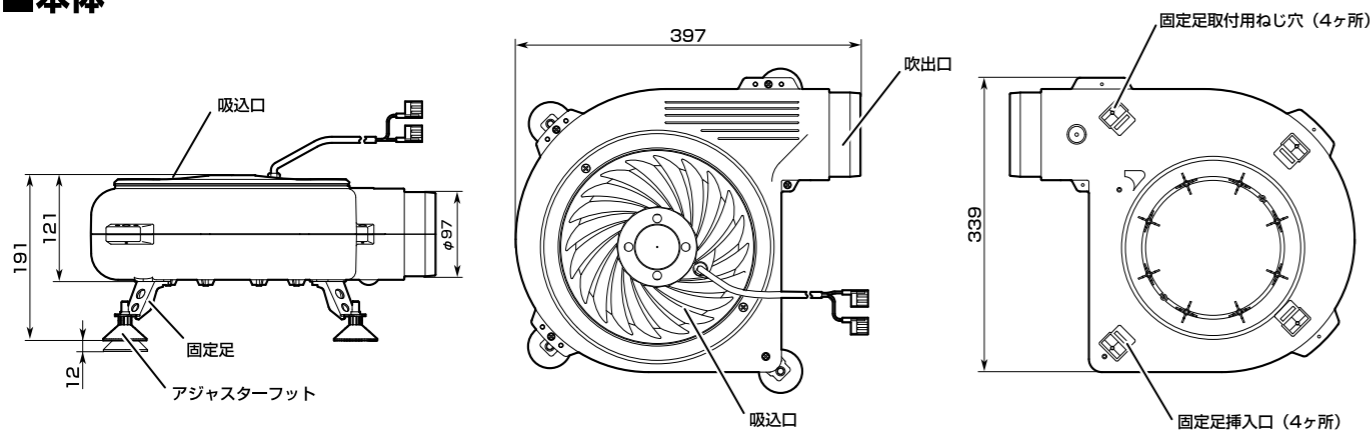
#### タイマー

- コンセント付近の都合の良い柱、又は壁に取付けてください。
- 換気扇を取付けた近くの室内に取付けてください。

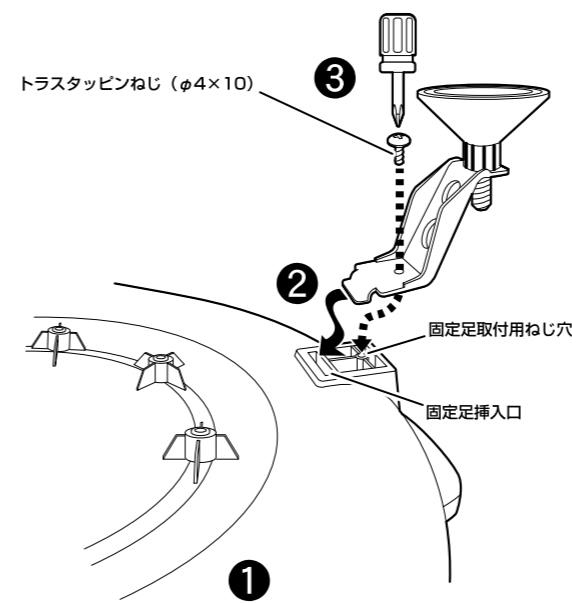
各部の名称と外形寸法図

■本体

【単位：mm】



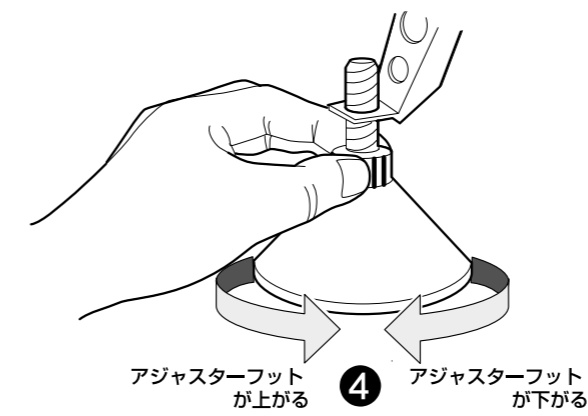
固定足の取付方法



1 本体を逆さまにし、底面を上にします。  
**注意**  
●本体を逆さまにする際に吸込口を地面にすりつけたり、たたきつけたりしないでください。破損・変形の原因になります。

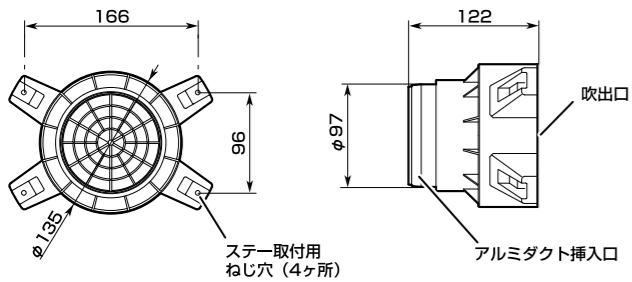
2 固定足挿入口に合わせて固定足の先を差込みます。  
3 底面の固定足取付用ねじ穴に固定足の穴を合わせ、付属のトラストッピンねじ（φ4×10）で締付け、固定します。  
※②～③をくりかえして固定足を4ヶ所取付けます。  
**注意**  
●ねじの締過ぎにご注意ください。破損の恐れがあります。

4 本体をもとにもどし、本体が水平になり、また、がたつきがないようにアジャスターフットの高さを調整します。  
※時計方向にまわすとアジャスターフットが下がります。反時計方向にまわすとアジャスターフットが上がります。  
**注意**  
●据置面が水平であるか確認して据置いてください。  
●据置く時はアジャスターフットの下に小石などがいないことをご確認ください。  
●固定足を持って運んだり、施工時に押したり引いたりしないでください。破損・変形の原因となります。

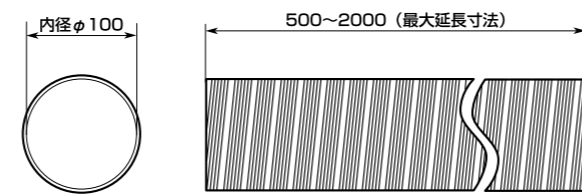


Fタイプ ※据置Fタイプは以下の内容が含まれます。

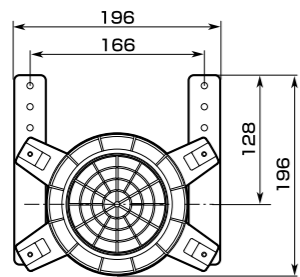
■吹出ノズル



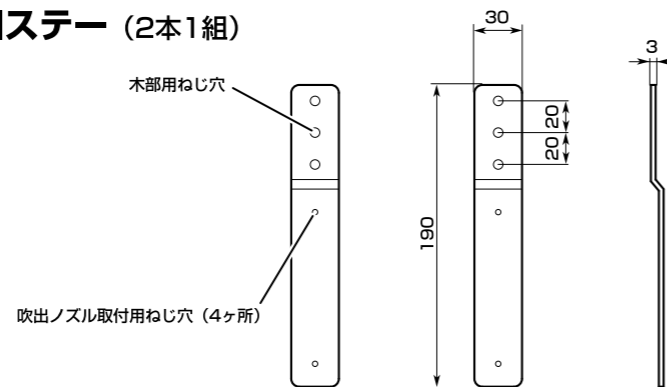
■アルミダクト



■吹出部完成



■ステー (2本1組)



●梱包内容 (本体1台)

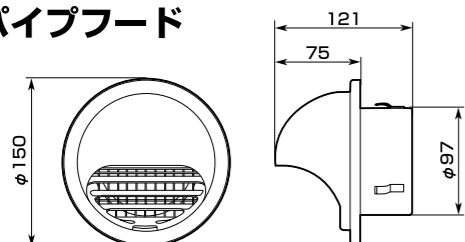
- 本体×1台
- 取扱説明書×1冊(※1)
- 保証書×1冊(※1)
- タイマー一式×1ヶ(※2)
- アルミダクト(最大2m)×1本

- アルミテープ×2本
- 固定足+アジャスターフット×4ヶ
- トラストッピンねじ(φ4×10)×4本(固定足取付用)
- 吹出ノズル×1ヶ
- ステー×2本

- トラス小ねじ(M4×16)×4本(ステー取付用)
- トラストッピンねじ(φ4×16)×4本(ステー木部取付用)
- コネクタキャップ×2ヶ

Pタイプ ※据置Pタイプは以下の内容が含まれます。

■パイプフード



●梱包内容 (本体1台)

- 本体×1台
- 取扱説明書×1冊(※1)
- 保証書×1冊(※1)
- タイマー一式×1ヶ(※2)
- アルミダクト(最大2m)×1本

- アルミテープ×2本
- 固定足+アジャスターフット×4ヶ
- トラストッピンねじ(φ4×10)×4本(固定足取付用)
- パイプフード×1ヶ
- コネクタキャップ×2ヶ

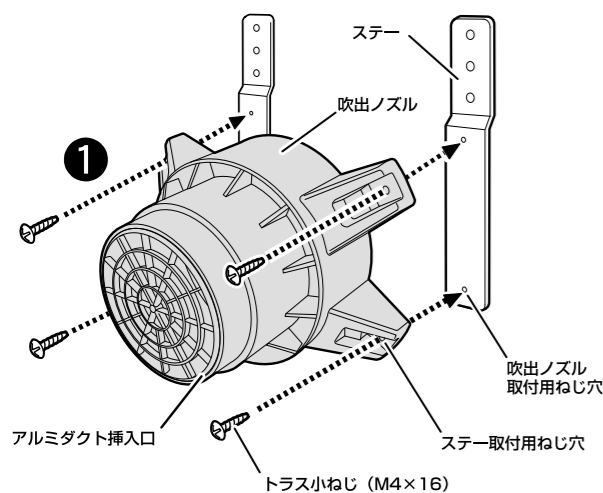
(※1) 1セット(本体2台)の場合1冊 (※2) タイマーの有無は梱包箱に記載

据置型 共通項

据置型 共通項



据置Fタイプの施工方法



**注意**

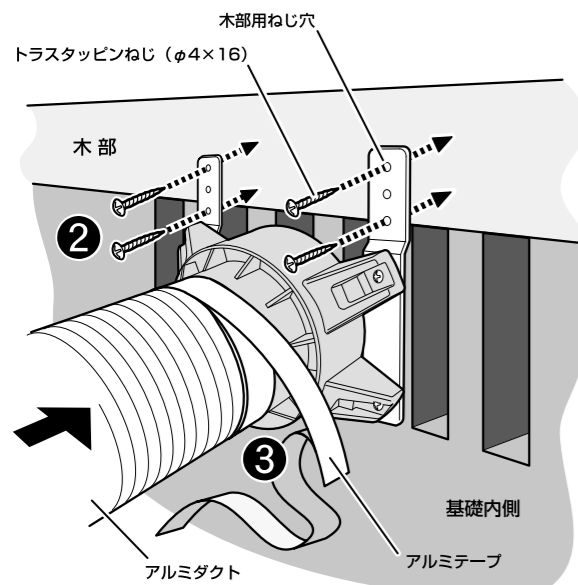
- アルミダクトのバリに注意してください。けがの恐れがあります。
- アルミダクトの長さは最大2mです。アルミダクトの長さを考慮して取付けてください。

**1** 吹出ノズル取付用ねじ穴にステー取付用ねじ穴をあわせ、付属のトラス小ねじ (M4×16) で締付け、固定します。(吹出部完成)  
※床下に入る前に取付けておくと効率的です。

**注意**

- 電動ドライバーを使用する際は、ドライバーで仮止めを行なってください。けがの恐れがあります。
- トラス小ねじ (M4×16) は、締付けの際、ねじの先端が約3mm出ますので注意してください。けがの恐れがあります。
- ステーのバリに注意してください。けがの恐れがあります。

据置Fタイプ



**2** 吹出ノズルを取付けたステーを基礎内側の換気口にあわせ、付属のトラスタッピンねじ (φ4×16) で基礎の木部などに締付け、固定します。  
※吹出ノズルの吹出口が換気口の中心にくるようにあわせてください。  
※木部にステーが取付けられない場合は、付属のコンクリートプラグを使用してください。

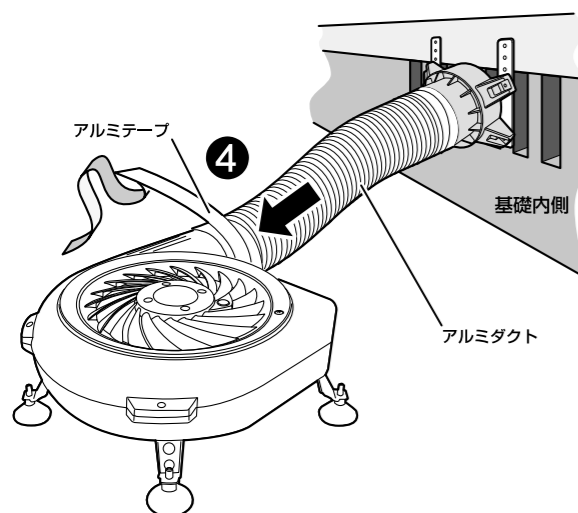
**注意**

- ねじの締過ぎにご注意ください。破損の恐れがあります。

**3** 吹出ノズルのアルミダクト挿入口にアルミダクトを差込み、アルミテープで締付け、固定します。

**注意**

- アルミダクトを伸ばす際は、変形のないようにしてください。性能低下や騒音の原因になります。
- アルミテープで締付ける際は、テープのはがれや空気漏れのないようにしてください。

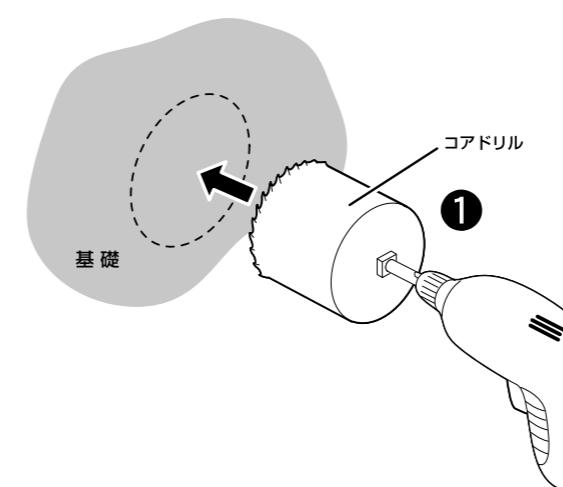


**4** 本体を据置き、吹出ノズルからアルミダクトを伸ばし、本体の吹出口に差込み、アルミテープで締付け、固定します。  
※P3の「ダクト工事に関する注意事項」をよくお読みください。

**注意**

- アルミダクトを伸ばす際は、変形のないようにしてください。性能低下や騒音の原因になります。
- アルミテープで締付ける際は、テープのはがれや空気漏れのないようにしてください。
- 本体に傾きがないよう、また、アジャスターフットは地面からの浮きがないよう設置してください。

据置Pタイプの施工方法



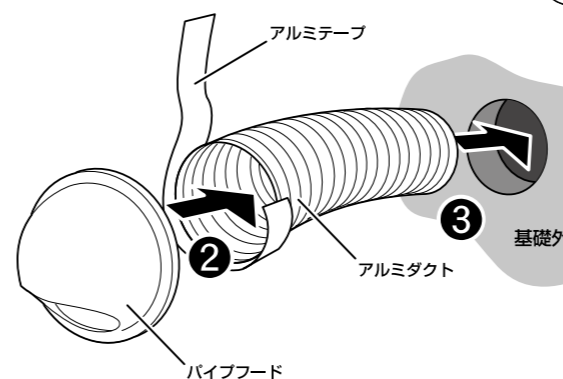
**注意**

- アルミダクトのバリに注意してください。けがの恐れがあります。
- アルミダクトの長さは最大2mです。アルミダクトの長さを考慮して取付けてください。

**1** 基礎にコアドリルでφ105~φ110の穴を開け、ダクトが通るようにします。  
※状況に応じて外側・内側から開けてください。

**注意**

- 電動ドリルを使用する際は、十分注意してください。けがの恐れがあります。

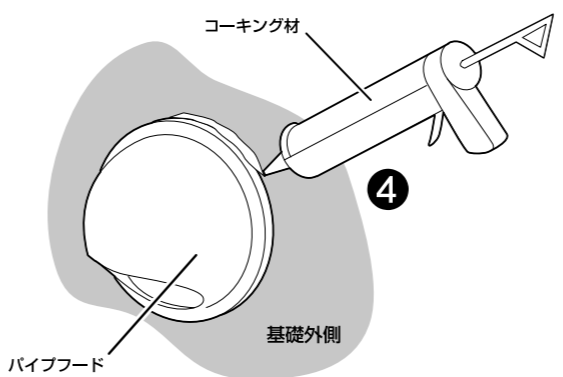


**2** パイプフードをアルミダクトに差込み、アルミテープで締付け、固定します。

**注意**

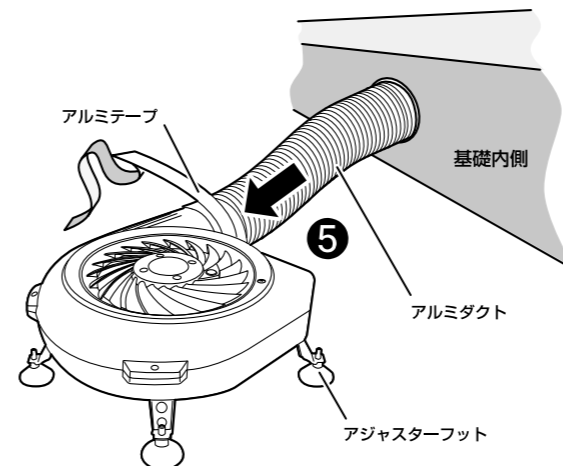
- アルミテープで締付ける際は、テープのはがれや空気漏れのないようにしてください。

据置Pタイプ



**3** アルミダクトを①で開けた穴に屋外から差込みます。

**4** パイプフードと基礎のすき間を市販のコーキング材でコーキングします。  
※変成シリコンをコーキング材として使用すると後に塗装ができます。



**5** 床下に本体を設置し、③で差込んだアルミダクトを伸ばし、本体の吹出口に差込み、アルミテープで締付け、固定します。  
※P3の「ダクト工事に関する注意事項」をよくお読みください。

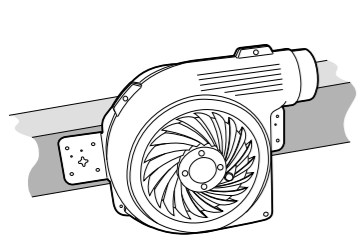
**注意**

- アルミダクトを伸ばす際は、変形のないようにしてください。性能低下や騒音の原因になります。
- アルミテープで締付ける際は、テープのはがれや空気漏れのないようにしてください。
- 本体に傾きがないよう、また、アジャスターフットは地面からの浮きがないよう設置してください。

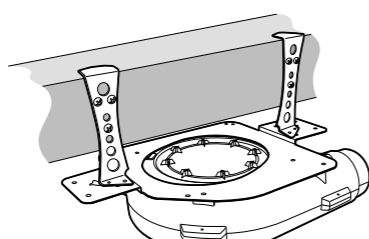
# ◎取付型（取付Fタイプ・取付Pタイプ）共通項

## 本体固定プレートを使った様々な取付例

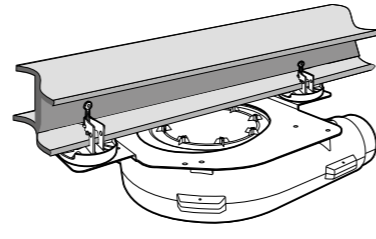
本体固定プレートは本体を様々な方法で取付けることができます。



木部への取付

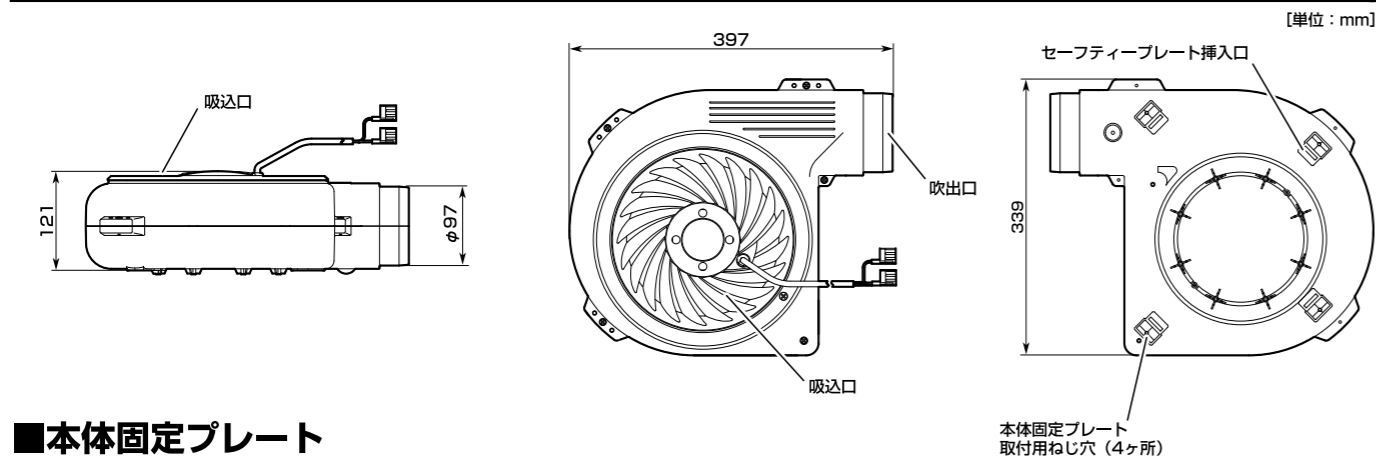


取付板を介しての取付

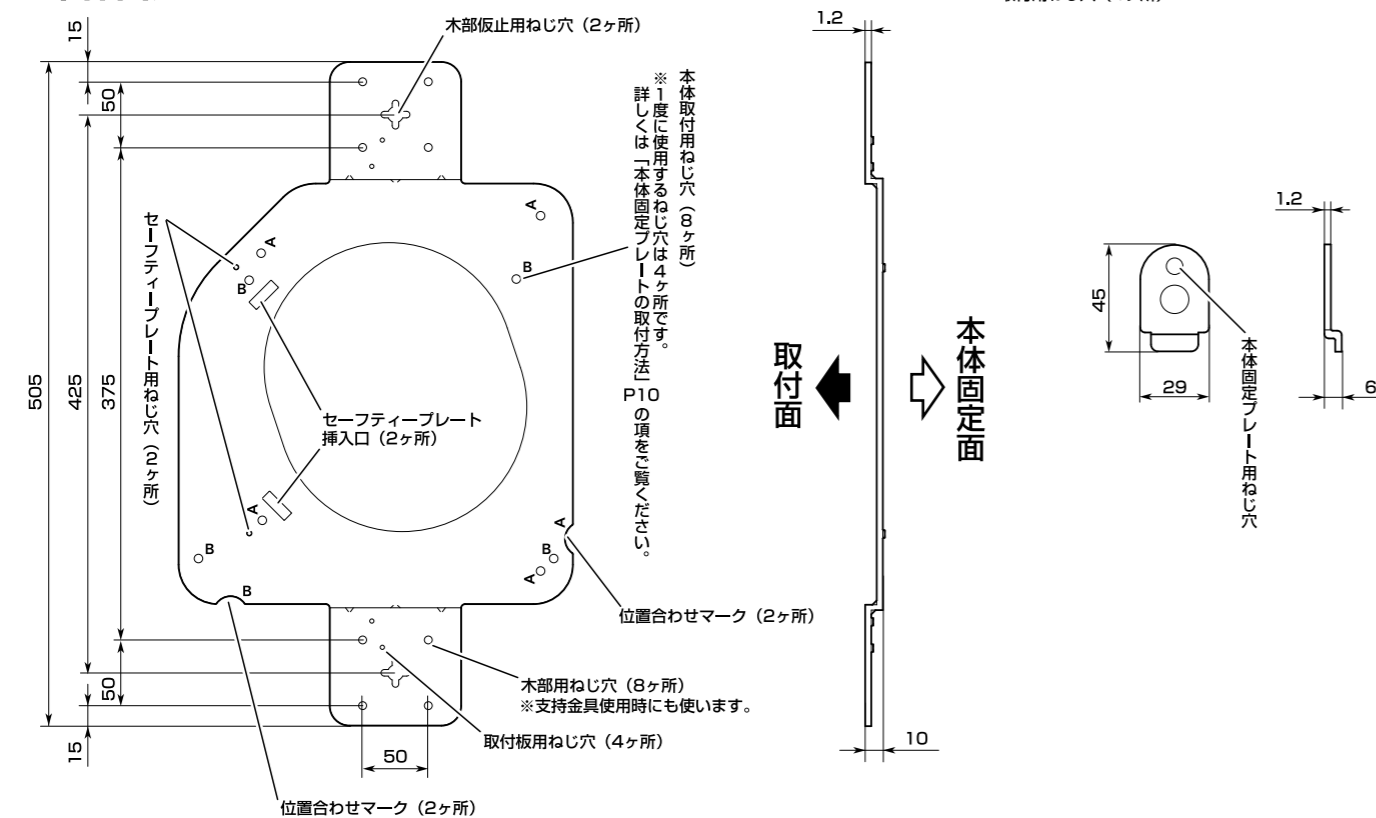


H(L)形鋼への取付

## 各部の名称と外形寸法図



### ■本体固定プレート



※取付板を介しての取付、H(L)形鋼への取付に使用する次の部品は別売となります。

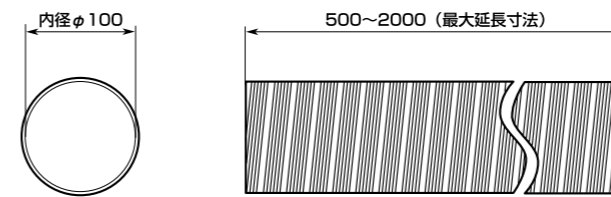
### 取付板セット (取付板を介しての取付)

- 取付板×2種類
- 黒色のなべ小ねじ (M4×8) ×4本

### 支持金具セット (H(L)形鋼への取付)

- 支持金具×2ヶ 未来工業 (株) 製 品番: SG-3
- なべ小ねじ (M5×16) スプリングワッシャー付×8本
- 六角ナット (M5) ×8本

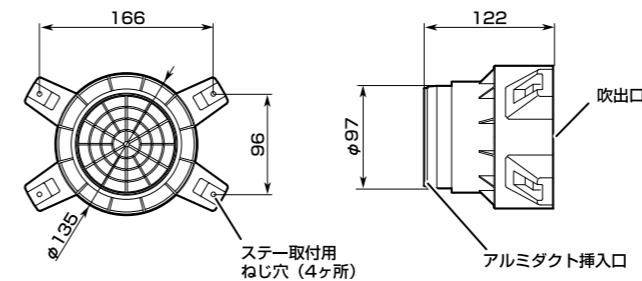
## ■アルミダクト



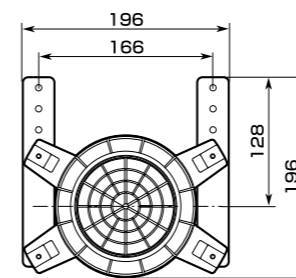
## Fタイプ

※取付Fタイプは以下の内容が含まれます。

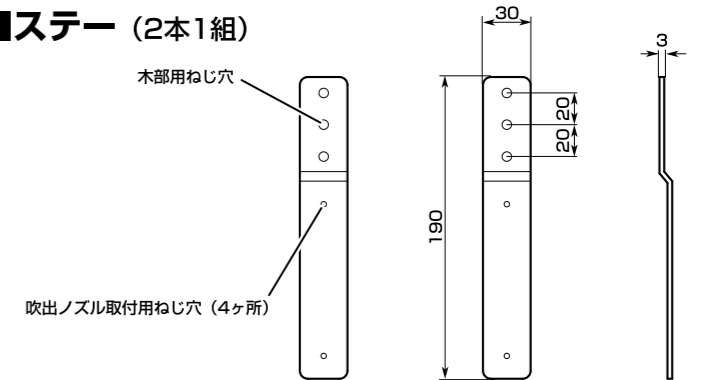
### ■吹出ノズル



### ■吹出部完成



### ■ステー (2本1組)



### ●梱包内容 (本体1台)

- 本体×1台
- 取扱説明書×1冊 (※1)
- 保証書×1冊 (※1)
- タイマー一式×1ヶ (※2)

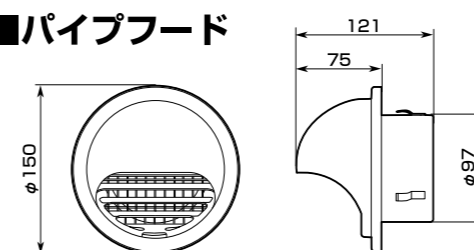
- アルミダクト(最大2m)×1本
- アルミテープ×2本
- 本体固定プレート×1枚
- トラスタッピンねじ (φ4×10) ×4本 (本体固定プレート取付用)
- セーフティープレート×1枚
- 黒色のなべ小ねじ (M4×8) ×1本 (セーフティープレート取付用)

- 吹出ノズル×1ヶ
- ステー×2本
- トラスタ小ねじ (M4×16) ×4本 (ステー取付用)
- トラスタッピンねじ (φ4×16) ×4本 (ステー木部取付用)
- トラスタッピンねじ (φ4×25) ×8本 (本体固定プレート木部取付用)
- コネクタキャップ×2ヶ

## Pタイプ

※取付Pタイプは以下の内容が含まれます。

### ■パイプフード



### ●梱包内容 (本体1台)

- 本体×1台
- 取扱説明書×1冊 (※1)
- 保証書×1冊 (※1)
- タイマー一式×1ヶ (※2)
- アルミダクト(最大2m)×1本
- アルミテープ×2本
- 本体固定プレート×1枚

- トラスタッピンねじ (φ4×10) ×4本 (本体固定プレート取付用)
- セーフティープレート×1枚
- 黒色のなべ小ねじ (M4×8) ×1本 (セーフティープレート取付用)
- パイプフード×1ヶ
- トラスタッピンねじ (φ4×25) ×8本 (本体固定プレート木部取付用)
- コネクタキャップ×2ヶ

(※1) 1セット (本体2台) の場合1冊 (※2) タイマーの有無は梱包箱に記載

共通項  
取付型



## 本体固定プレートの取付方法

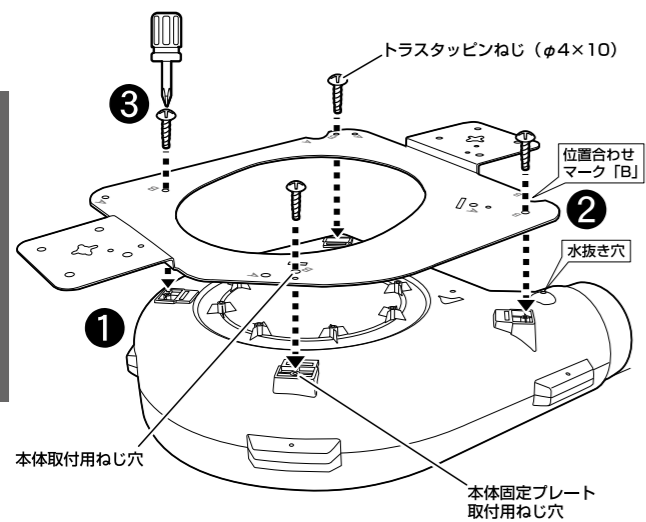
本体に本体固定プレートを取付ける角度は以下の2通りあります。

※あらかじめ本体を取付ける場所をご確認の上、本体固定プレートの取付角度をお選びください。

位置合わせマーク「A」を合わせる場合	位置合わせマーク「B」を合わせる場合
<p>本体固定プレートの位置合わせマーク「A」をブロー本体の水抜き穴に合わせ、4ヶ所の本体取付用ねじ穴「A」を本体固定プレート取付用ねじ穴に合わせます。</p>	<p>本体固定プレートの位置合わせマーク「B」をブロー本体の水抜き穴に合わせ、4ヶ所の本体取付用ねじ穴「B」を本体固定プレート取付用ねじ穴に合わせます。</p>

### 位置合わせマーク「B」を合わせる場合

※位置合わせマーク「A」を合わせる場合は上図を参照してください。

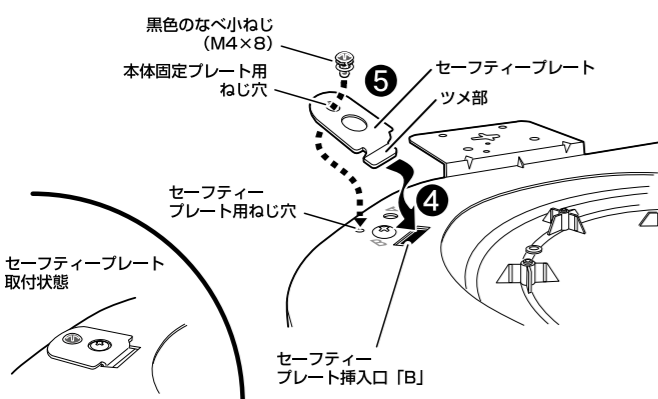


- 1 本体を逆さまにし、底面を上にします。  
 ●本体固定プレートのバリに注意してください。けがの恐れがあります。
- 2 上図を参照し、取付けたい角度に本体固定プレートを合わせます。  
 ※本体固定プレートの位置合わせマーク「B」をブロー本体の水抜き穴に合わせ、4ヶ所の本体取付用ねじ穴「B」を本体固定プレート取付用ねじ穴に合わせます。  
 ※位置合わせマーク「A」を合わせる場合は本体取付用ねじ穴「A」を合わせてください。
- 3 本体固定プレートを付属のトラスタッピンねじ(φ4×10)で締付け、固定します。  
 ※必ず4ヶ所ずつ締付け、固定してください。

注意  
●ねじの締過ぎにご注意ください。破損の恐れがあります。

- 4 セーフティープレート挿入口にセーフティープレートのツメ部を差し込み、本体と一緒に固定します。  
 ※本体固定プレートからの本体落下防止のため、セーフティープレートは必ず本体のセーフティープレート挿入口まで差し込み、固定してください。  
 ※セーフティープレートの固定は1ヶ所です。  
 ※位置合わせマーク「A」を合わせる場合は上図を参照してください。
- 5 セーフティープレート用ねじ穴に本体固定プレート用ねじ穴を合わせ、付属の黒色のなべ小ねじ(M4×8)で締付け、固定します。

注意  
●ねじの締過ぎにご注意ください。破損の恐れがあります。



## 本体の設置方法

### 木部への取付

- 1 本体固定プレートを取付けた本体を取付けたい木部に於て、木部用ねじ穴に付属のトラスタッピンねじ(φ4×25)で締付け、固定します。  
 ※必ず8ヶ所締付け、固定してください。

注意  
●アルミダクトの長さは最大2mです。アルミダクトの長さを考慮して取付けてください。

幅90mm以上の木部に設置してください。

### 取付板を介しての取付

※取付板セットは別売です。

- 1 2種類の取付板を本体固定プレートの2ヶ所の取付板用ねじ穴にそれぞれ合わせます。
- 2 2種類の取付板を付属の黒色のなべ小ねじ(M4×8)でそれぞれ締付け、固定します。※必ず2ヶ所ずつ締付け、固定してください。
- 3 取付板のツメ部を木部に引掛け、木部用ねじ穴に付属のトラスタッピンねじ(φ4×25)で締付け、固定します。  
 ※必ず3ヶ所ずつ締付け、固定してください。

注意  
●アルミダクトの長さは最大2mです。アルミダクトの長さを考慮して取付けてください。  
●木部が水平であるか確認して取付けてください。落下の恐れがあります。

### H(L)形鋼への取付

※支持金具セットは別売です。

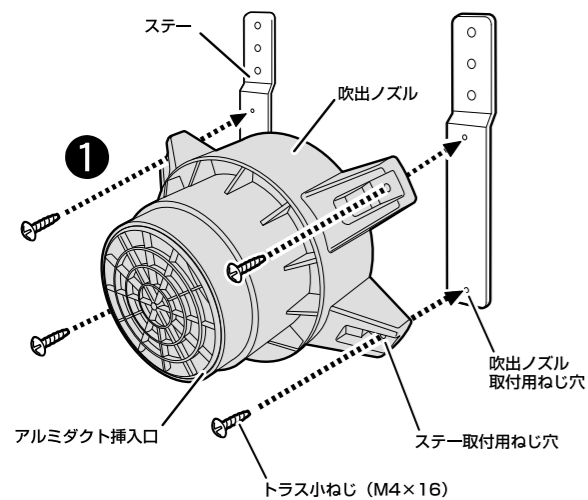
- 1 2ヶ所の支持金具のねじ穴を本体固定プレートの4ヶ所の木部用ねじ穴にそれぞれ合わせます。※支持金具は厚さ15mmまで対応できます。
- 2 支持金具をなべ小ねじ(M5×16)とナット(M5)で締付け、固定します。
- 3 支持金具をH(L)形鋼に引掛け、締付ねじで締付け、固定します。

注意  
●アルミダクトの長さは最大2mです。アルミダクトの長さを考慮して取付けてください。  
●H(L)形鋼への取付けでは、縦方向には取付けしないでください。落下の恐れがあります。  
●H(L)形鋼が水平であるか確認して取付けてください。落下の恐れがあります。

共通項  
取付型

共通項  
取付型

取付Fタイプの施工方法



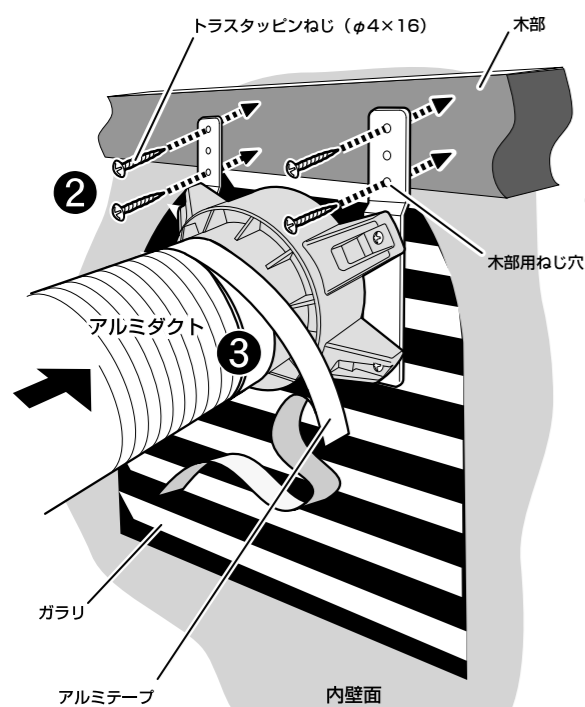
**注意**

- アルミダクトのバリに注意してください。けがの恐れがあります。
- アルミダクトの長さは最大2mです。アルミダクトの長さを考慮して取付けてください。

**1** 吹出ノズル取付用ねじ穴にステータス取付用ねじ穴をあわせ、付属のトラス小ねじ (M4×16) で締付け、固定します。(吹出部完成)  
※施工前に取付けておくと効率的です。

**注意**

- 電動ドライバを使用する際は、ドライバで仮止めを行なってください。けがの恐れがあります。
- トラス小ねじ (M4×16) は、締付けの際、ねじの先端が約3mm出ますので注意してください。けがの恐れがあります。
- ステータスのバリに注意してください。けがの恐れがあります。



**2** 吹出ノズルを取付けたステータスを壁面の換気口にあわせ、付属のトラスタッピンねじ (φ4×16) で木部などに締付け、固定します。  
※吹出ノズルの吹出口が換気口の中心にくるようにあわせてください。  
※木部がなくステータスが取付けられない場合は、あて木をして取付けてください。あて木をしないとねじが壁面を突き抜ける恐れがあります。

**注意**

- ねじの締過ぎにご注意ください。破損の恐れがあります。

**3** 吹出ノズルのアルミダクト挿入口にアルミダクトを差込み、アルミテープで締付け、固定します。

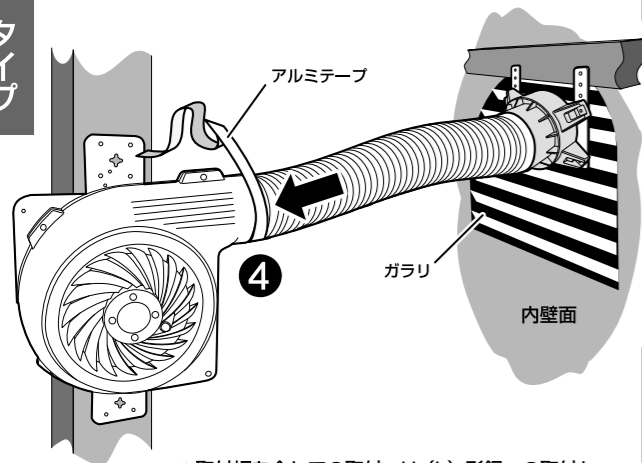
**注意**

- アルミダクトを伸ばす際は、変形のないようにしてください。性能低下や騒音の原因になります。
- アルミテープで締付ける際は、テープのはがれや空気漏れのないようにしてください。

**4** 吹出ノズルからアルミダクトを伸ばし、本体の吹出口に差込み、アルミテープで締付け、固定します。  
※P3の「ダクト工事に関する注意事項」をよくお読みください。

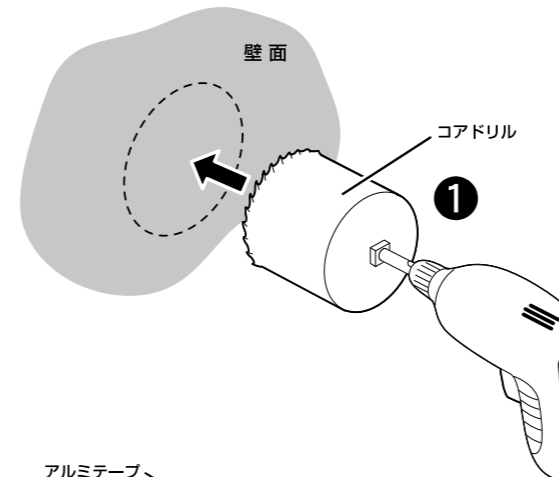
**注意**

- アルミダクトを伸ばす際は、変形のないようにしてください。性能低下や騒音の原因になります。
- アルミテープで締付ける際は、テープのはがれや空気漏れのないようにしてください。



※取付板を介しての取付、H (L) 形鋼への取付もアルミダクトの取付け方は同じです。

取付Pタイプの施工方法



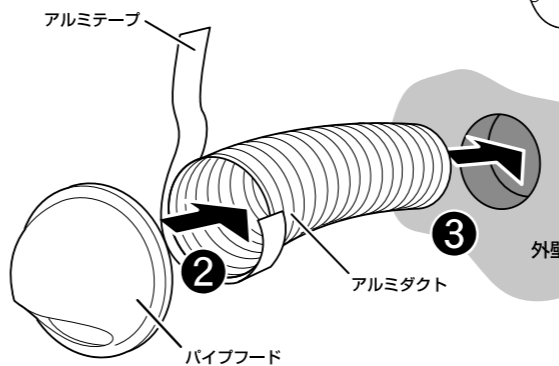
**注意**

- アルミダクトのバリに注意してください。けがの恐れがあります。
- アルミダクトの長さは最大2mです。アルミダクトの長さを考慮して取付けてください。

**1** 壁面にコアドリルでφ105～φ110の穴を開け、ダクトが通るようにします。  
※状況に応じて外側・内側から開けてください。

**注意**

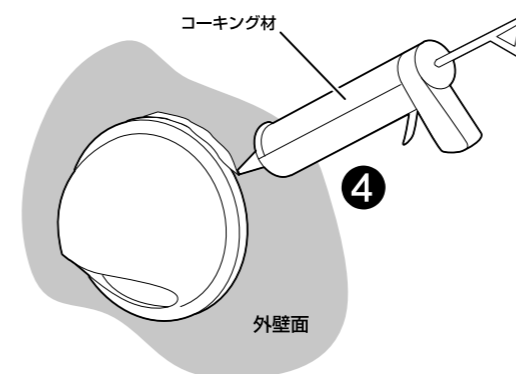
- 電動ドリルを使用する際は、十分注意してください。けがの恐れがあります。



**2** パイプフードをアルミダクトに差込み、アルミテープで締付け、固定します。

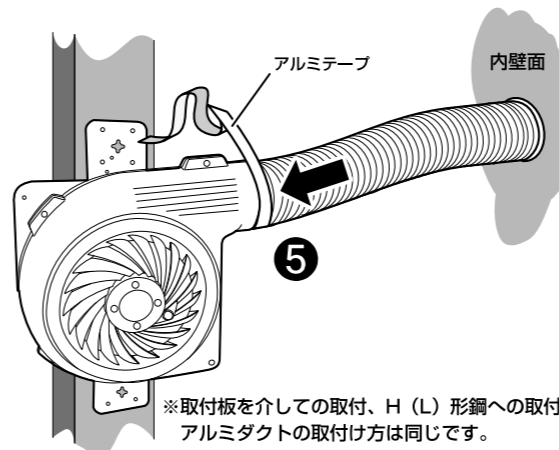
**注意**

- アルミテープで締付ける際は、テープのはがれや空気漏れのないようにしてください。



**3** アルミダクトを①で開けた穴に屋外から差込みます。

**4** パイプフードと壁面のすき間を市販のコーキング材でコーキングします。  
※変成シリコンをコーキング材として使用すると後に塗装ができます。



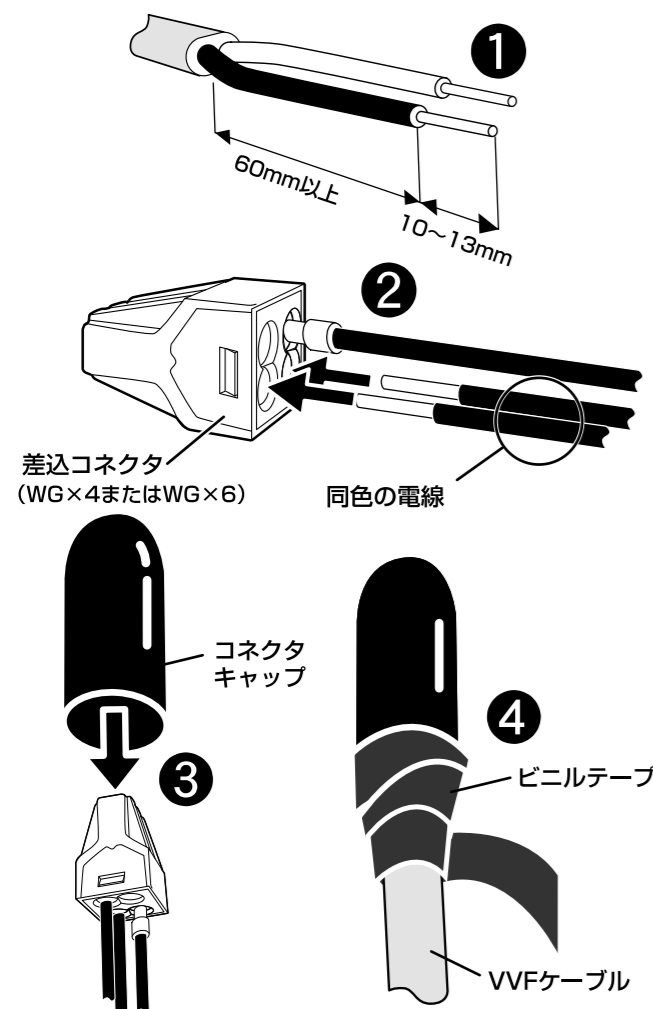
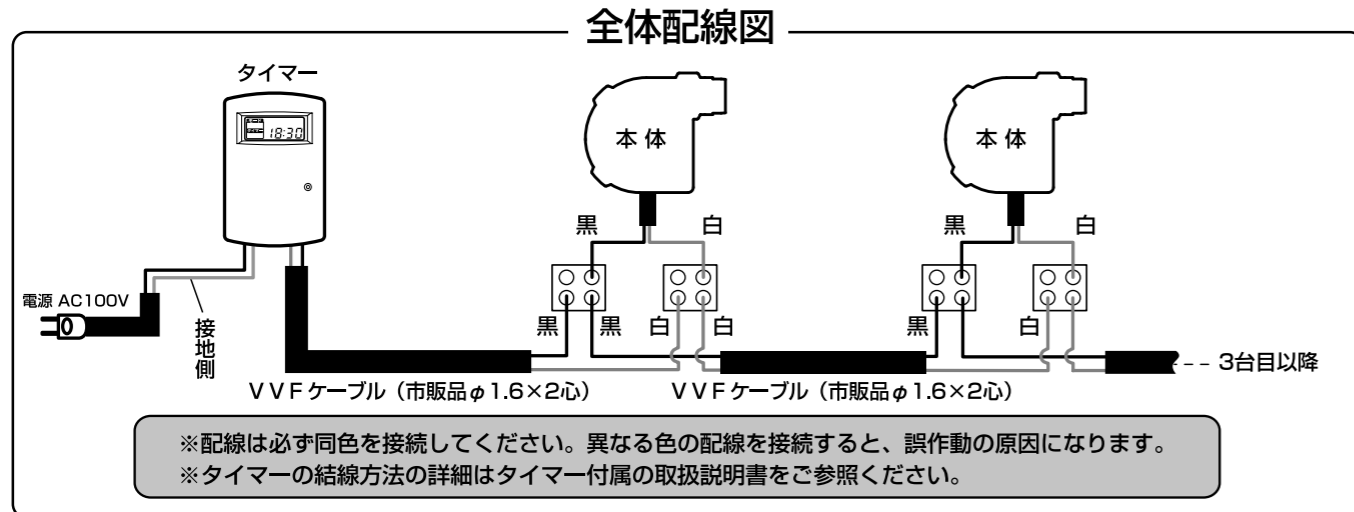
**5** ③で差込んだアルミダクトを伸ばし、本体の吹出口に差込み、アルミテープで締付け、固定します。  
※P3の「ダクト工事に関する注意事項」をよくお読みください。

**注意**

- アルミダクトを伸ばす際は、変形のないようにしてください。性能低下や騒音の原因になります。
- アルミテープで締付ける際は、テープのはがれや空気漏れのないようにしてください。

※取付板を介しての取付、H (L) 形鋼への取付もアルミダクトの取付け方は同じです。

### 配線および結線方法



① VVFケーブル (市販品φ1.6×2心) を10~13mm段剥きし、曲がり等があれば直してください。

**注意**

- 電線の段剥きの長さは必ずお守りください。

② 段剥きした電線を先端が突き当たるまで、差込コネクタに強く挿入してください。

※一本毎に引張り、抜けないことをご確認ください。

**注意**

- 1つの差込コネクタには異なる色の電線を差込まないでください。
- 曲がった電線は必ず真直ぐに直して差込んでください。
- ※不適正な電線の使用は火災の原因となります。

③ 付属のコネクタキャップを被せてください。

**注意**

- コネクタキャップを被せた後は、必ず先端を上に向けてください。
- ※下に向けると水滴が溜まり、漏電・ショートの原因になります。

④ ビニルテープを半幅以上重ねて3回以上巻いて固定してください。

### 仕様

定格電圧	AC100 [V]
定格周波数	50/60 [Hz]
定格消費電力	33/38 [W]
換気能力	248/231 [m <sup>3</sup> /h]
騒音	50/48 [dB] (吹出口から45°、1m地点で測定)
質量	約2.6 [kg] (付属部品を除く)

### 工事完了後の点検

#### 取付の確認

- 本体・アルミダクト・吹出ノズルまたはパイプフード、およびタイマーが正しく取付けられているか確認してください。
- ※本体に傾きがないよう、また、アジャスターフット (据置タイプ) は地面からの浮きがないよう設置してください。
  - ※パイプフードにコーキングしたコーキング材にすき間がないか確認してください。(据置Pタイプ・取付Pタイプ)

#### 運転の確認

- 1.コンセントに横P付コードのプラグを差込み、タイマーのモードを **連続運転** にして換気システムが正常に運転していることを確認してください。
- 2.換気システムを運転している時に、振動音や異常音がないか確認してください。
- 3.タイマーのモードを **タイマー** にしてください。  
 ※タイマーの使用方法は、タイマー付属の取扱説明書をご参照ください。

※換気口付近で異音がある場合は、吹出ノズルの場所を調節するか、換気口の格子を取除いて防虫ネット (オプション) を取付けてください。(Fタイプ)

#### memo